

令和元年度

事業実績報告書

施設名: 母子生活支援施設ブルーインター

事業所名	母子生活支援施設ブルーインター			職名	人数	備考
施設長・管理者名	施設長 八木正美			施設長	1名	※内1名は主任母子支援員 ※内1名は事務員 ※2名ともパート
実施事業	母子生活支援施設			母子支援員	3名	
開設年月日	平成15年4月1日			少年指導員兼事務員	3名	
所在地	鳥取県倉吉市福守町407-14			保育士	1名	
正規職員数	4名			心理療法担当職員	1名	
準職員数	2名			調理員	1名	
契約職員数	6名(内2名パート)			宿直員	2名	
定員	30世帯	実績利用者数17.8世帯/日	達成率 59.3 %	計	12名	
項目	事業計画			事業実績		
1 基本方針	<p>児童福祉法の、「すべての国民は、児童が心身ともに健やかに生まれ、且つ、育成されるように努めなければならない」「すべての児童はひとしくその生活を保障され、愛護されなければならない」の規定にのっとり、唯一母子で入所できる児童福祉施設として、児童の心身共に健全な育成を母と共に目指して、様々な事情で困難な環境に陥っている母子が、生活力と、精神力を取り戻し、自信をもって、力強く地域で自立していけるように思いやりと感謝の心で支援する。</p>					
2 運営方針	<p>一般的・常識的な「日常」が、入所世帯の「日常」とは限らないということを念頭に置き、表面的な見方ではなく、慎重に、隠れた問題を探り、根本的な解決を目指した、思いやりで満たした関わりを心がけることで、母子が笑顔と喜びに満ちた、本当の意味での自立が出来るよう努める。</p>					
3 主な事業内容	(1)施設整備計画			(1)施設整備実績		
(1)施設整備事業	相談室設置工事	他	2,876千円	相談室設置工事	他	2,876千円
(2)事業活動	(2)事業活動			(2)事業活動		
	◎母親支援事業			◎母親支援事業		
	・惣菜DAY			・毎月1回×12ヶ月 一食100円で2品を提供し、家事負担を軽減することに繋がった。8割以上の家庭が利用された。		
	・リフレッシュ保育			・毎月第4日曜日10時～16時、年間を通して実施した。母親のリフレッシュの時間を提供し、子育ての負担軽減につながった。また、子ども達の様子を確認することで、虐待防止にもつながった。		
	(お母さんといっしょ)			・年6回18時～19時、小学1年生までの家庭を対象に、保育室でカレーライスを食べながらの子育てサロンを実施した。対象家庭はほぼ全家庭が参加した。		
	・あったまろうDAY			・家族と一緒に過ごす時間を提供することで、家族が心通わせあたたまる時間を設けた。誕生日や高校の合格祝い、また忙しい日に利用される。盛り付けをして居室で家族写真を撮影し思い出の1枚とし母子関係構築の一助となった。		

	<p>◎児童支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育 <p>(セカンドステップ)</p> <p>(子どもクラブ)</p> <p>(土に親しむ会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おやつ提供(施設内子ども食堂) <ul style="list-style-type: none"> ・すずらん教室 	<p>◎児童支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春休み、夏休み、冬休みを中心に学童保育を実施した。午前9時～午後2時まで児童を1階共有スペースで保育し、学習支援や各種行事を通して、協力することや対人関係を学ぶ場を提供した。また、午後2時～午後6時までは見守り保育を行い、児童の安全確保と信頼関係構築に繋がった。 ・コミュニケーションスキルを身に付ける為に、セカンドステップも年間通して行った。 ・県の補助金“体験の風をおこそう”を利用して、大山登山に挑戦した。往復7時間の登山経験は子どもたちの“出来る”という自信にも繋がった。 ・他の児童養護施設の職員及び利用者とサツマイモの栽培を通して交流を行った。収穫したサツマイモは様々な行事で提供した。利用者様・入所者様・地域の方々にも提供した。 ・年度当初はこども達を対象に休日の食事提供をし、子ども達の食事確保としていたが、仕事から帰ってきた母親の家事の時間が減らし、その分子どもと関われる時間を増やしてほしいという願いから、全入所者に手作り弁当を提供した。 ・毎月1回、手作りおやつを提供した。児童も楽しみに帰ってくるようになり、おやつでお腹が満たされ児童間トラブルが減った。 ・2グループに分かれて、和み庵にて学習支援を行った。提供したドリルや宿題に取り組む姿があり学習定着に繋がった。外部講師(アルバイト)を雇い、職員は児童送迎と見守りを行った。
	<p>◎施設環境事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブルインファーム <ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動 	<p>◎施設環境事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内で季節の野菜を作り、子どもたちの豊かな心を育て、収穫を一緒に分かち合った。 ・施設内外の環境維持に努めた。玄関周り、お地藏様付近のお花管理を季節に応じて行った。
<p>4 安全管理・衛生管理</p>	<p>◎地域連携密着事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つながるプロジェクト&おにぎりや <ul style="list-style-type: none"> ・ブルーインター広報 	<p>◎地域連携密着事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターグループホーム交流カフェと合同夕涼み会を行った。学校の先生をお招きすることができた。おにぎりやと題して、入所者様に軽食を配布し、つながる時間を設けた。 ・県内外の措置関係機関に母子生活支援施設の理解と周知を深める為にパンフレットの郵送及び訪問を行った。特定妊婦の受け入れをPRL、実績につなげることができた。
<p>5 防災・火災、救助体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防設備の定期点検 ・隣接する施設との合同緊急避難訓練の実施 ・施設の避難訓練は月1回の実施を徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理簿に基づき、健康診断受診の徹底を図った。委託契約書の内容充実した。 ・声掛けを繰り返し、回収日までに提出できた。 ・調理業務に携わる職員全員を対象に毎月実施した。 ・職員の健康診断に基づき、産業医へ健康相談を行い職員へ返した。 ・安全管理分担表に基づき、点検を実施した。 ・月に2回点検を実施した。年に1回の遊具安全点検も実施した。また、遊具点検を行った際に、指摘のあった箇所の修繕を行った。 ・新型コロナウイルス感染予防に特に注意し、マスクの着用、手洗い、消毒を徹底した。 ・10月と2月に消防用設備等(特殊消防用設備等)点検を実施した。内1回を消防署へ提出した。 ・役割分担の確認を行う中で、ブルーインターは自施設の役割以外には、他施設から避難された方の見守りを行った。 ・避難訓練は消火訓練も含め、毎月実施した。不審者対応の訓練の際には、実際に避難放送を流して警報ボタンを押し警備会社と連携した訓練を行った。消防署にも指導を受けながら避難訓練も実施したが、母親の参加する家庭と参加しない家庭が顕著となった。

<p>6 職員の資質の向上と研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修への積極的参加 ・法人内部研修への参加 ・施設内のOJT・職員研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・県外・県内問わず、必要に応じ施設長を含む職員を積極的に派遣した。 ・経理研修・労務管理研修・階層別研修等全てに参加した。 ・資料有り、無しのケース検討会を実施し、支援について職員全員で実践に繋がるプランを作成した。 ・児入協施設訪問研修に職員が1名参加し、児童養護施設で1泊2日の研修を行った。 ・母子支援員会議、子担当会議に臨床心理士と基幹的職員が同席することでスーパーバイズできる体制を整え、毎週1回の会議を行い、それぞれの支援経過及び今後の支援方法を検討した。 ・4名が国家資格等を目指して勉強中。内1名は精神保健福祉士を取得した。
<p>7 各種団体との連携と地域交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人行事、施設行事を通じて積極的に地域と交流 ・地域の中にある関連機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の里祭り、秋の文化祭に参加。施設行事には、インターグループホーム、倉吉スターガーデンとの交流を設けた。 ・地域の母子家庭へのアプローチの一環として、倉吉市母子寡婦福祉連合会に参加した。連合会会長による書道教室を当施設で行った。 ・DVネットワーク会議に参加し、警察等も交えて事例の検討を行ったり制度の理解を深めた。児童相談所と病院と施設等でも要保護児童対策地域協議会で連携することが出来た。 ・保育園・各学校行事へ参加した。 ・クリスマス会では大人になった退所児童がピアノ演奏を披露し、感謝の意を伝えた。 ・月1回法テラスの弁護士に来て頂き、入所者、退所者の法律相談を実施した。法テラス中国近畿ブロック合同研修を当施設で実施し、施設長が講師を務め母子生活支援施設への理解を深める場となった。 ・小鴨地区民生委員の研修会を当施設で実施し、母子生活支援施設の現状と役割について理解を深める場となった。令和2年度は合同行事も計画していくこととなる。 ・市役所、児童相談所、地域連携室等とも協議する機会を多く持てた。 ・保育園・各学校と定期的に情報交換を行った。 ・学童保育の行事の一環として、子ども達と近隣施設の清掃をしたり、法人内の地域福祉相談支援事業推進室による将棋大会に参加した。 ・1月以降、新型コロナウイルス感染予防のため各交流会は中止となった。

季節・年間行事

施設名：母子生活支援施設ブルーインター

実施月	行事計画	行事実績
平成31年 4月	【母親支援事業】【母子支援事業】【児童支援事業】【施設環境事業】の実施…年間通して随時実施 母との会・総会及び創立記念を祝う会・春休み学童保育・昼食提供	各事業の実施【あったまろうDAY・惣菜DAY・リフレッシュ保育・学童保育・セカンドステップ・すずらん教室・おやつ提供・ブルインファーム・花いっぱい運動】 総会及び創立記念を祝う会(7日)
令和元年 5月	各種事業の実施、子どもクラブ、土に親しむ会、リフレッシュ保育、母との会	各種事業の実施、ペープサートシアター(3日)、おにぎり屋(26日)、リフレッシュ保育(26日)、母との会(31日)
6月	各種事業の実施、子どもクラブ、BOOOミニコンサート、リフレッシュ保育、土に親しむ会、法律相談	各種事業の実施、母との会(1日)、BOOOミニコンサート(27日)、法律相談(15日)
7月	各種事業の実施、子どもクラブ、インターGHとの交流行事、夏休み学童保育、母との会	各種事業の実施、インターグループホーム交流会及び法テラス研修会(4日)、7月子どもクラブ(6日)、昼食提供(毎週火、木)、おかあさんといっしょ(9日)、始まりの会(23日)、水遊び(24日)、聞くカトレーニング(25日)、土に親しむ会(26日)、母との会(26日)、リフレッシュ保育(28日)、シャーベット作り(29日)、噴水池掃除(30日)、オリジナルカップラーメン作り(31日)
8月	各種事業の実施、盆前大掃除、母との会、子どもクラブ、夏休み学童保育(遠足等)、福祉の里夏まつり、ドラゴンカヌー大会	各種事業の実施、子どもの権利ノート勉強会(1日)、運動会(2日)、ネイチャーゲーム(5日)、科学実験教室(6日)、おやつ作り(7日)、盆前大掃除(8日)、土に親しむ会・海に行こう(16日)、米子高専出前講座(19日)、青空レストラン(20日)、倉吉スターガーデン交流会(21日)、おやつの日(28日)、映画館に行こう(23日)、新学期準備大会(22日)、リフレッシュ保育(25日)昼食提供(毎週火・木)、母との会
9月	各種事業の実施、備品点検、前期自立支援面談、親子遠足・大山登山	各種事業の実施、民生委員(小鴨地区)研修会・見学会(3日)、おかあさんといっしょ(3日)、夕涼み会(9日)、大山に泊まろう(14日)、秋の遠足(15日)、リフレッシュ保育(25日)、調理実習(26日)、前期自立支援面談、備品点検
10月	各種事業の実施、母との会、子どもクラブ、大山登山	こどもクラブ(13～14日)、母との会、土に親しむ会(19日)、おやつの日(23日)、リフレッシュ保育(24日)、ハロウィンおやつの日(31日)
11月	各種事業の実施、土に親しむ会、子どもクラブ、繋がるプロジェクト(おにぎり屋)、福祉の里文化祭	各種事業の実施、福祉の里文化祭、おかあさんといっしょ(5日)、リフレッシュ保育(27日)、おやつの日(27日)
12月	各種事業の実施、クリスマス会、餅つき大会、年末大掃除、冬休み学童保育、母との会	各種事業の実施、年賀状づくり(26日)
令和2年 1月	各種事業の実施	各種事業の実施、年賀状づくり・書道教室(6日)
2月	各種事業の実施、母との会、子どもクラブ、備品点検、後期自立支援面談	各種事業の実施、備品点検、後期自立支援面談、2月子どもクラブ(1日)、おやつの日(12日)、リフレッシュ保育(23日)、母との会(27日)
3月	各種事業の実施、子どもクラブ、不審者対応訓練、インターGH交流会、春休み学童保育	各種事業の実施、3月子どもクラブ(14日)、白壁土蔵群探索(29日)、eスポーツ大会(27日)、フライドポテト作り(30日)